よろこび

日蓮宗 顕聖会

本山　妙顕寺
長音山　本要寺

『よろこび』４

貫首　齊藤　日軌

日蓮聖人はハートのセンターの奥にご本尊があると仰せです。

「此御本尊全く余所に求る事なかれ。只我等衆生法華経を持て、南無妙法蓮華経と唱る胸中の肉団におはしますなり。是を九識心王真如の都とは申也。」（日女御前御返事）

胸中の肉団がハートのセンターです、これは愛と感謝と喜びのセンターです。この奥の中心意識の中に私達の認識主体真我があるのです。この真我が九識と呼ばれる心の王様で、この王様のいる王国が九識心王真如の都です。この都に入るのには南無妙法蓮華経と唱えることが合い言葉です。

心の王様が妙法蓮華経、この王様は喜びの王様です。南無妙法蓮華経と唱えれば私達は愛と喜びの王国に入ります。もう一度南無妙法蓮華経と唱えて喜びの生活を生きましょう。

みおしえ

私達の意識の中には、過去世の思いと行いがカルマ体と成って潜在しています。このカルマ体は、私達の人生の思いと行いがそれと似たような思いと行いとなると、活性化し私達の意識に影響を与えます。カルマ体は人格体であります。即過去世の人格です。これは普段は種子として私達の潜在意識の中にあります。わたしの過去世を見るとお釈迦様や天台大師のお弟子さん。また外国の王様などいろんな方がいて、いろいろ私に智慧や勇気霊感を与えてくださいます。瞑想をすると過去世を思い出したり。透視したりできることがあります。また子供の時は何となく過去施のことを思い出したりすることがありますが、それが過去世のものと気がつかないことが多いようです。南無妙法蓮華経と唱えよい過去生とつながる事が大切です。また悪しき過去世のカルマは南無妙法蓮華経の正法の生活をすることにより、正すことができます。

いのり

南無妙法蓮華経と唱え
喜びの王国に入ろう
南無妙法蓮華経と唱え
喜びの人生を生きよう